THE WOMAN'S WEEKLY

第三巻 第二十五號

大正六年六月廿二日發行（毎週金曜日發行）

大正四年十一月四日 第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□祝地久節

□婦人と職業的訓練……小橋三四子

□時事週評

□天才の家系（下）……井上文學博士

□短歌「野ばら」……安中花子

□富は理想を行ふ手段……三輪田元道

□陸接間の五分間「川合玉堂氏夫人」……記者

□いろ〳〵の社會「山王の神輿」……民子

□賃機織から百萬長者に……I子

□女の先生の印象「同一授業をした男女の先生」……K子

□涙の安賣り……澤田斷雲

□胃腸によいマッサージ……藤井かう子

□東京だより「夏の裝ひ」

□梅漬け三種……櫻井ちか子

□オハナシ「自然兒」……琴子

□小說 雜草……茅野雅子

□新街衝突物語「聲の衝突」……近藤浩一路

□時事……編輯室より

定價一部四錢五厘 郵稅五厘

婦人週報社

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

主婦之友夏季特別號

家事經濟號

家庭の好伴侶

奥様の相談役

成功した貯金の實驗

…貯金の出來ぬは仕方の惡しきためなり。初はどう
…しても貯金の出來なかつた家庭が、遂に貯金に成
…功するに至つた實驗八種を集む一讀を乞ふ。

△生活難を知らぬ安全生活法（佐治實然）
△家庭生活を經濟的に改めよ（山脇博士）
△家事の暇々に出來るお金儲（磯野吉雄）
△私の實行する經濟的買物法（三角錫子）
△新婚の娘に送つた母の手紙（某博士夫人）
△安價で出來る避暑生活方法（淺田夫人）

改良した中流の家計

…むづかしいものは家計の執り方です。茲に掲げた
…家計は、月收十六圓より月收百卅圓までの十種の家
…庭が、それぞれに工夫改良したる生活振です。

△誰にも出來る廢物の絞染法（さく子）
△僅十八錢で出來る子供夏服（きよ子）
△家庭經濟に就ての十五秘訣（本誌記者）
△三十萬の資產を作つた叔母（松波好子）
△酷い經濟衰弱を癒した經驗（綱島牧師）
△訪問して感じた不快四十七ヶ條

上品で收入多き内職

…婦人の内職として、上品で收入の多きものは何であ
…るか。いま現に内職に從事してなる人々の實驗を
…記して、新たに内職を始める方への參考とす。

本號の大呼物

◎復活綸物語……（石井叢伯筆）
◎古今名婦鑑……（野口復堂作）
◎婦人運命判斷……（船井梅南翁）
◎廢物利用百種……（家庭重寶記）
◎夏の經濟料理……（五十種掲載）
◎額面用の大口繪……（石井滴水畫）

本日出來

本號特價廿七錢
郵稅金二錢
半年分一圓四五錢

東京家政研究會
東京巢鴨町振替三三七八六

麻の長襦袢

△袖と裾とに涼しさうなドローンウォークがしてあります△毎日洗濯しても惡くなりません△代價は四圓乃至五圓△袖だけならば貳圓内外△襟だけならば七十錢から壹圓二十錢位。

墨繪の帶

絹、繻子、麻等にお望みの繪を描きます。片側ならば三圓五十錢。丸帶ならば六圓。

手拭地のカーテン

一間仕立代共一圓廿錢（郵稅先持ち）

婦人週報社代理部取次
振替東京三一六六〇

マッサージ夏期講習會

一、目的　家庭に必要なる衛生及び慰安マッサージを教授す
一、場所　牛込區市ヶ谷田町二ノ廿一松宮方（婦人週報社附近）
一、期日　自七月十六日至七月卅一日 自八月一日至八月十五日 自八月十六日至八月卅一日（日曜日を除き毎日午前二時間）
一、人員　一回十人を以て定員とす
一、講習料　金拾圓也前納の事
一、證書　講習修了者には修了證書を交付す
一、特典　講習修了者は會員として今後の藤井女醫主催の衛生講習會に隨意傍聽又は研究に出席する事を得

講習主催者及主任　女醫　藤井孝子

右御希望の方は至急牛込區市ヶ谷田町二ノ十七婦人週報社（電話番町四五六六）に申込まれたし。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

祝地久節

來る廿五日は我が皇后陛下第卅三回の御誕辰に相當致します。昨年來我が皇后陛下には愈よ御健勝に渡らせ給ひ、愈よ教育、社會事業御奬勵の爲め、各所に行啓遊ばされたる御精勵の程は國事多端なる昨今、愈よ國家の根本を培へよとの有難き思召のほども窺はれて、畏しこき極みであります。地久節を壽ぐと共に、其の思召に沿ひ奉る覺悟を一層强め度いものであります。

婦人と職業的訓練

口時勢に裏切つた事實

社會の一角には、婦人の智能を磨き其の地位を高むる爲め、若くは生活難の必然の結果の爲婦人に凡ての職業を開放せよとの聲益々高きにも拘らず、事實は之れに裏切つて、小學校女教員の不信任問題起り、婦人職業の不適當を叫ばるゝのは、單に保守主義者、固陋なる者の反感とのみ見る事は出來ませぬ。婦人の職業的訓練の甚だ淺い爲めに、職業の意義を爲さぬものが、多々ある事を反省して、自ら教化する事に務めなければ、婦人の職業は却つて一家の秩序を亂す許りでなく、社會の進運を妨げる有害無益のものとならざるを得ませぬ。

口内職風の氣隨に傾く

第一に婦人の就職者は稍もすれば内職風の氣隨に傾きたがるのであります。興味が湧けば、夜の目も眠らずに、一瀉千里の勢を以て事を執るかと思へば、直ちに倦み疲れて、殆ど責任を忘れたかの如くなり終るものであります。内職ならばそれでも濟みませうが、苟も職業は公衆に向つての約束であります。之れを破つて、なほ其の位置と報酬とを得やうとする事は、二重の罪惡を犯すものと見なければなりません。

口體力と實力の不足

第二に婦人の執務振りは體力の不足して居る爲めに、壞れた機械を回すやうな不快さが伴ひます。心ゆく丈け働らかすれば、病氣になりはせぬかと氣遣はれる許りでなく、實際病氣となつて、快復する迄には永い時間と金とを費さなければなりませぬ。第三には實力の乏しい爲めに、仕事が不完全であります。婦人の執つた仕事は、之れを補ふ第三者が無ければ、纏つた一つの仕事として、社會に發表されるものが少なからうと思はれます。

口其他の短所

第四に婦人に獨創力の乏しい爲めに其の仕事が何事も機械的に陷り生命ある進歩を見ないのであります。たとへば帳簿記入のやうな仕事にも、命ぜられた儘に記入する以外に、仕事に當つて發明する處があれば、興味も湧き、勞力も省けて行きませうが、其の餘裕を持つ事が尠うございます。第五に所謂ヒステリックな性情の爲めに、感情を害し、悲觀し失望する事が多いので、男子よりも使ひ難いと申

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

すことは、屢々聞く處であります。

□職業は大學教育

私は婦人に之れ等の短所ある爲めに、猶ほ一層職業場裡に進んで出づる機會が欲しいと思ひます。これ等は、職業婦人と云はず一般の婦人の性情としても面白からぬもので、婦人が何千年來家庭にのみ立て籠ってこの性を爲したとすれば、之れを何等かの方法で矯正啓發して行かなければ、其の性癖は益々募る許りでありませう。職業は實に婦人にとつての大學教育であります。然しながら元來職業は學校にあらず、慈善事業に非ず、報酬を受けて働らくものとすれば、修業中にあるが如き過渡時代の職業婦人は一層の反省と努力とを積まなければ社會に對して、申譯ない次第であります。

□母たる事は完全な職業

元來母たる事は、完全な職業の訓練を與ふべき筈であります。嬰兒の全生命を預つて居る母は一度の授乳を怠つても、生命の發展を妨げるので、不斷の緊張を續けて、其の心身を保護して行かなければなりませぬ。育兒のみは興味中心も許されず、異常な體力と・能力と・絶えざる發明と平和な心とを持たなければなりません。そして全世界の女はこの尊い母職には成功して來ました。しかも其の母職から生れに性情の訓練は一と度社會に起てば、幻のやうに消えて力無くなるのは何故でせうか。母職は我が子を思ふ本能的の深い愛によつて苦も亦樂しく、無意識の中に重大な任務を果す事が出來たのであります。

□その愛を擴大せよ

この深い母の愛を社會的に擴大して職業の上に注ぐ事が出來れば、堅苦しい修行を積まなくても、職業婦人の任務を立派に果たす事が出來ませう。實際に婦人の頭に金を儲ける爲めの職業といふ觀念が早く入り過ぎました。成るべく金を多く取る爲めには、不足の勞力をさへ惜しみ、之れを切り賣りする事に急であつて、職業を愛し、之れに全身の熱情を注ぎかけて働らく興味を知らずに過して居る者が多いのは惜しむべき事であります。この心掛けを一變しなければ、自らも進まず、職業の爲めにも亦禍ひであると申さねばなりません。（三四子）

時事週評

□**臨時議會開會**　六月廿一日より臨時議會が開かれました。國事多端の折柄、つまらぬ政爭の爲めに、徒らに騷擾を釀する事なく、國民の儀表たる實を擧げられんことを。

□**米國の飛行機五十萬臺**　米國が歐洲戰爭に參加すると同時に、航空費として五億弗の支出をする事に決しましたが、當局者は尙ほ十億弗を要求する計畫であると申します。もし十五億弗が航空費として許さるゝとすれば、我が貨幣の三十億萬圓に相當致します。而して我が陸軍の航空費約六十萬圓と、海軍の廿萬圓とを合算した八十萬圓に比較すれば、米國の航空費は實に四千倍で、更に歐洲各國の航空費を合しても遠く及ばぬのです。現在米國の飛行機は、軍用及び民間を加へて二千五百臺ですが、今回の費用を以て製作する時は、五十萬臺といふ恐るべき數を備へる事が出來る由です。今後の覇權を握るは空中にありと云ふ事に着眼した機敏な遣り方と、之れに直ちに應ずる富力を有する事は、羨ましい限りです。なほ現在の各國の飛行機數は、獨逸二千（外に飛行船五十隻）佛二千、英千五百、伊五百、露三百、日百といふ有樣で我が國は今後長足の進歩をしなければ、到底列强に伍するに足りませぬ、返す〴〵も奢侈に耽つてなどは居られぬ時です。

□**發疹チブスの病原**　今回二木博士の研究により、發疹チブスの病原が世に公にされた事は喜ぶべき事であります其の傳播は虱にありと申しますれば一層清潔が大切だと思はせます。中流以上の家庭に虱は居ないとされて居りますが、子供は外でどんな所にも坐つたり、どんな子供とも手を接いだりします。それ故各家庭は自分の家を清潔にする許りか、近所の細民達に充分清潔といふ事を教へて行つたらよからうと思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

天才の家系（下）

一人の努力の効果は永遠

文學博士　井上哲次郎

□德川時代の學者

德川時代に至り文教の方では藤原星窩、林羅山を擧げ得やう星窩は藤原定家卿の十二世の孫に當り、優秀なる系統を亨けて居る事は云ふ迄もない。林家も亦藤原氏の子孫で初め加州侯に仕へたが後紀伊に移つた。羅山の子に春齋、春德あり、春齋は鵞峯と號し、其の子に梅洞、鳳岡あり、鳳岡の子に榴岡があつた。これ等は皆一世に聞えた學者であつたが、羅山を中心に爛焕たる一朶の花の如く、天才を出して居る。

□山崎安齋と感化遺傳

山崎安齋も亦、當時に聞えた學者の一人である。親は針醫師をして居つたが、先祖は立派な武士であつた。安齋は家庭に於て祖母と母との感化遺傳を強く亨けたと思はれる。祖母が安齋を教訓したものが今に遺つて居るが、その中に「身は一錢、目は百貫、汝等眼を害うこと勿れ文字なきは眼なきと同じ」と云はれて居る。母も亦「鷹は饑えても穗を啄まぬ。士の子は氣を高くしなければならぬ。」と教訓して居る。安齋は性豪放、自然に放任すれば恐るべきものがあつたと思はれるのは、長じて講義をする際にも、常に棒を傍らに置いてこれを振り回す癖があつた。弟子等は隨々焉として恐れながらも、何となく其の講義に引付けられて、次の日にはまた集つて來たと云ふ。安齋は學問と修養とによつて、過激な性質も軌道を外れない迄に大に引締めて居たものと思はれる。

□我が帝國大學の祖

今日小石川音羽にある儒者捨場と云はれて居る處に古賀精里の墓があるが、彼れは寛政年間に江戸の三博士の一人に數へられた人である。精里の子に穀堂侗菴あり、侗菴の子に茶溪があつた。侗菴は最も學力の秀でた人であつたが、子の茶溪は漢學と共に蘭學にも秀で、我が帝國大學の萌芽を哺んだ人である。

□象山と山陽

德川時代の終末に於て、天稟の才高き人を擧げれば、佐久間象山である。佐久間家は、桓武帝の曾孫高望王の血統を亨け、安房國佐久間の莊に居つたので其の姓を爲した。後信濃の飯山に移つたが、父は文武兩道に秀で、易にも委しかつた。象山が傑出して居るのも、亦因なきに非らずである。其の子は不肖であつたが、精神的の子孫としては、吉田松陰、勝海州、加藤弘之の如き立派なる弟子を出して居る。

頼山陽も亦、不朽の學者の一人である。父は頼春水と云ひ、學者にして、春水遺稿あり、書に巧みであつた。春水の弟は杏坪と云つて、詩は專門的に見れば、山陽等の遠く及ばざる處である。山陽の子に四子あり、長は天死したが、次は律菴、友峰、三樹と云ひ、何れも名高い學者詩人になつて居る。

□二宮尊德翁

二宮尊德は今日の人は貯蓄計りを致へた人のやうに思つて居るが、實は學德共に秀でた人であつた。彼れは酒匂川の土百姓ではなく、其の父祐周は曾我祐

三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

信十三世の孫である。祐信はかの五郎十郎を養つた人で、情も威もある武士であつた。後ち土地の名を取つて二宮と稱するに至つた。尊徳に至つて、全く零落の極點に達して居つたが、彼れは奉公しながらも、自ら求めて勉學をした。長じて彼れは報徳の道を説いたが、自らは人を助けて財を積む暇が無かつた。その爲め理解のない最初の妻は「こんな人に生涯連れ添ふて居ても望みはない」と云つて、逃げ出して終つたと云ふ程でした。今日光の今市に二宮神社があり、先年私が其神社に詣でた時、二宮文庫を見たが、此處は報徳全書のみで一ぱいになつて居つた。實に其數一萬卷に上り冊數でも二千五百部の多きを數へて居る。先年報徳宗によつて富を成した鈴木藤三郎氏が、謝恩の爲め報徳全書の保存を圖らうとて、之れを謄寫した事があるが、二十人の筆耕が三年間を費し、其の筆耕の料金に五千圓を拂つたと云ふ事である。もしこれを一人が寫すとすれば、生れてから六十歳になつて漸く完成を見る程のものであるが、貧窮より身を起して、一世の師表と仰がれ、諸侯の財産整理に東奔西走しながら、斯かる大著述をなせるは、實に凡庸の者の企て及ぶべからざる處で、この大才も前述の如く決して偶然に出でゝ居るのではない。

□現代の學者の家門

其の他我が國に於ける書家として狩野家は十三代も大家が繼いて居り、其の傍系にも探幽等を出して居る。現今の學者の家系としては大槻家・菊池男爵家に及ぶものはない。大槻家はかの言海を著はした文彦を中心に祖父は磐水と云ひ、其の子は磐溪といふ蘭學者であつた。文彦の兄は如電と云つて、これも聞えた學者である。菊池男爵は父は箕作阮甫と云ひ、長子は菊池男爵となり、次子箕作佳吉氏、三子同元八氏は共に學者として知られて居る。男爵箕作俊夫氏は菊池男爵の甥に當り、醫學博士呉秀三氏は其の從兄弟に當つて居り、一門に學者が叢り出でゝ居る。

□醉世夢死は許されぬ

以上擧げた我が國の學者、天才家の家系を見ても、素質遺傳と感化遺傳とは明瞭に窺ふ事が出來る。換言すれば一人の努力の効果は必ず其の子孫に遺り、或は精神的子孫としての周圍に感化を及ぼして居るのを見れば人生僅か五十年等と醉世夢死する事は出來ない譯である（中略完）

四

野ばら

安中花子

我が胸に消えてひさしき其のかみの夢呼ぶとてか野ばらはな咲く。

初夏の大天地に滿ちみちてる緑の如も君はめでたき。

ゆきたけの合はぬころもの着心地のいらだゝしくも暮れしけふかな

ひたすらに君いとしみし其のかみのおもひでの色とうばら匂へる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

富は理想を行ふ手段

國家の進展の爲企つべき事業多し

文學士　三輪田元道

□憂慮に堪へない風潮

私は今の世の中の風潮を見て實に憂慮に堪へないものがある。昨今俄に富が增して來たと云ふ事は事實であるが、富は理想を行ふ手段の爲めにこそ必要であらう、其の運用を誤つては何の役にも立たないものになつて了ふ。けれども俗人は稍もすれば富が絕對のものであつて、其れ以上理想に向つてこれを働かす事を知らない爲めに、却つて害毒を流す事がある。今や日本は漸く正貨の激增を來し、一方に於ては至極樂觀の狀態にあるやうに思はれるが、唯だ此の一事を以つて、前途の幸福を喜ぶ事は出來ない。

□亡國の最後を飾る一幕

日清、日露の戰捷から弛みかけた人心は、歐洲戰亂の影響に依つて財政界に好況を齎した結果、實に華美に進んで來た。元祿と云へば德川時代で一番華かな奢侈を好んだ時代で、文藝、美術の著しき發達を遂げたと云ふ特徵はあるが、柔弱で遊びを事とすると云ふ缺點が自然に伴つて居た。後世德川の天下が倒れたのも既に此の時分から萠しがあつたと云はなければならない。歷史を見るに一國が亡びんとする暫く前には、必らず華奢優柔の時代が最後の一幕を飾つて居る。今日我國家に對して斯の如き不吉の言語を呈し度くはないが、餘りに有頂天になつて居る人々の多いのを見ては、後日の憂ひを考へずには居られない。

□蠻人の裝飾と一斑

特に婦人が單に外觀を飾るに過ぎない裝飾の爲めに、千金をも惜しまないに至つては其の虛榮も甚しいと云はねばならない人は野蠻時代程裝飾を怠らなかつた。身體には入墨を施し、衣服には玉石を鏤め、羽毛を以つて頭髮を飾る等、頭から爪先に至る迄、出來る丈けの力を盡して立派にする事を誇りとして居た。これは畢竟彼等の威嚴を示す爲めに外から着けた光りであつて、人智の進まない時代には其の光彩に恐れて尊敬を拂つて居たが、文明の進步した今日は修養に依つて生れた心の光りでなければ人格者は重きを置かなくなつて來た。富を誇る爲めに洋傘の柄にダイヤモンドを鏤めた處で、內が豐富でなければ蠻人の虛飾と擇ぶ處がない。況してや知識階級の者が贅澤を誇るに至つては精神的の墮落と云はなければならない。

□心の光りの招く敬意

婦人が贅澤な虛飾を以つて人に謳はれるのは、決して眞の敬意を拂はれるのではなく、全く物品視せられたものである。生の意義を明らかにし、無限に向上發展した時に初めて眞實に人の尊敬を招く事が出來る。河中の石が絕え間ない流水の壓力に依つて段々に掘られ〳〵て來るに從つて、流水と反對に上流に向つて轉げて行くと云ふのは物理學上の原則であるが、人も心の光りが相手を射て、其の胸に充分響きを與へた時に、自ら其處に人が集つて來るものである然し絕對に金を使ふなと云ふのではなく、浪費を省いて人格を中心とした遠大な理想に向つて惜し氣もなく使はるゝ事を望むのである。

□金の有用な費途

其の方法は隨分澤山あるであらうが、消極的には社會の缺陷を補ふ事業の爲めに、例へば肺

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

病、梅毒、癩病の如き國家的の病氣に對してこれが研究の資を投じ、或は治療の爲めに直接患者の便宜を計る事も目前の急務であらう、其の他慈善事業に於て、世人の喜捨を待つ事業は多々あらう。進んで積極的には民族の發展を計る仕事も亦限りなく目に映るのである。婦人の日常生活に近い事にしても、日本の家庭で最も不便を感じて居る食物の改良せめて御飯だけでもこれを配達するの便宜を計るとか、國家の中堅となるべき中流階級が上下からの壓迫に依つて、今日は經濟上最も慘めな境遇に置かれて居るのであるから、其れ等を救ふ爲めに中流家庭の婦人に適當の職業を與へるとか、知識及び道德の普及に盡力して立派な出版物を施本的に配布する等擧げて數へれば隨分其の種類は澤山ある。もし富豪婦人がダイヤの指輪の二三個を節約すれば、其の金を以つて一部の人を殆ど永久に救ふ道を開く事も出來るのである。而して浮薄な娯樂を棄てゝ生きた快樂を心から樂しみ、これを競ふやうになれば、國家人類の上に何れ程の幸福を增進させる事が出來るか解らぬであらう。今此の期に於て婦人自身が其の爲すべき事を知り、充分に其れに向つて進んで行かなかつたならば、戰後の列强と同一步調を取つて進む事は覺束ない事と思はれる。

六

應接間の五分間

其の八

川合玉堂氏夫人

藝術家の妻たる苦心

▲某日――帝室技藝員川合玉堂氏の夫人富美子樣を牛込の新邸にお訪ねする。見晴らしの宜い若宮町の高臺である。瀟洒な冠木門を這入ると小石を敷きつめた庭になり、玄關の横の楓の木陰に、大きな熊笹に覆はれた車井戸があつたりする。名古屋から職人が來て建てたと言ふその家は、何處となく上方風の雅致が溢れて見える。女中はにこやかに微笑して私を應接間に導いた。深川を思はせるやうな杉の木立を前庭にした日本室、茶室の面影が漂つてゐる。二階の方から、幽かにピアノの音が彈けてくる。

▲夫人は間もなく出て來られた。焦茶と青磁の久松絞りの帶をしめた三十七八、或は九かとも思はれる繪の中から拔け出たやうなすつきりした方、丸髷に結んでセルの單衣を召してゐた言葉つきの靜かな、謙遜な方である。玉堂氏がまだ若かりし日、京都へ修業にお出ましになる後の寂しさから氏の代りにとて早く家に迎へられたのだと言ふ。

▲『私は學校などへ行く暇もなくて當家に嫁きましたので、無學な爲めに落ち度があつてはならないと思つて二十幾年になる今日まで、事なかれかしと唯家事に沒頭して暮して參りました。殊に宅の仕事が氣分本位の生活でございますので、私の足らない所から氣分を亂させるやうな事があつてはならないと、明け暮れ注意し家庭内の雜事は一切耳に入れないやうに勉めますけれど、何うかして一寸氣をゆるめるともう取り返しのつかぬ失敗を招いて叱責されて居ります。幾歳になつたら滿足に家事をとることが出來るやらと思ふと心細くなります。』と斯う夫人は仰有つて、寂しく微笑なさるのであつた。が、此樣な藝術家の心を解し、緊張し、反省しつゝある夫人を内助者に持つ氏の幸福を羨ますにはゐられない。夫人は言葉をつゞけられる。

▲『私は昔からの習慣で女中達と一所に掃除も致しますし、臺所の事も致します。でよく宅が其樣な事は他の者に言ひ附けて少しは何處かへ行つたら宜からう、と申しますけれど、毎日家にゐてさへ失敗勝ちなのに他所へ出たら家の事は何うなるだらうと思つて行く氣になれず、損な人だと皆に笑はれて居ります。』など、言つて笑ひ、昔は子供を負つて洗濯したりお勝手をしたり致しましたもの、働く事など何でもございませんと仰有つてゐた。眞面目な方である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いろ〳〵の社會(十)

夏の祭

山王の神輿

六月の十四、十五、十六の三日間に亘る、赤坂の山王さまのお祭りを幕あけに、此處彼處の夏祭りは始まつてゆく。之れから花の都は祭りの季に入るのである。青葉がくれに金色まばゆき綺羅びやかな神輿がかつがれて都大路を渡り歩く。之れも一種の社會の群だと思ふ。私は山王祭の中の日、明け方の露に濡れた青葉の下を山王の山から降りくる行列に出會した。行列は可成り長い、仰々しいもので、然し詩を讀むやうな趣きあるものであつた。

＊＊

行列は仕事師衆達の木遣歌から始まる。意氣な姿の男衆が二三十人ばかり、頭に導かれて藍の香匂ふ印半纏に三尺をしめて片手に白扇をもち、聲を揃へて木遣を歌ふ。その後から、太鼓が行き、氏子總代の羽織袴の人が行き、そして仕丁姿に作つた男達が御幣を下げた御神木を荷つて續き、御劍が行き、御鏡が行き、徒歩の神主が續かれたり、騎馬の神主が行かれたりする。騎馬の神主には仕丁姿の男が美しい長柄の傘を翳しかけてゐる。馬の轡をとつてゐる男、昔の繪の中に出てくる人のやうに、優美な裝ひをしてゐた。神主は身分によつて各々異ふ垂衣を着てゐられる。それから笙、篳篥などをする奏樂部の人が行き、そして又色々の人がつゞいてから御神馬が行く。御神馬は馬が重からうと案じられるほど背に裝飾がついてゐた。その後に神輿が荷はれて行き、後から宮司が二臺の馬車でつゞいて行く。行列は之れで終つてゐるが、道の兩側に立つて拜んでゐる氏子達は列の中央の頭を行く賽錢箱においひねりを捧げてゐた。私の側にゐた物識りらしい老人は言ふ。

＊＊

元來お祭りと言ふものは冬枯れの灰色の野へ春が來て美しい花を咲かせ、水々しい若葉から青葉にかはつて夏の野山が緑に包まれる。人の祖先はこの草木の繁茂した生氣の充ちた世界を唯ジッと見過すことを勿體なく思つて、夫れ等の草木の成長を祝福すると同時に、かうして年々歳々、幾萬年か幾億年かを平和に送つてゐるのをあやかつて、人と草木とで長閑かな天地を造らうとして之れを祭りと言ふ一つの方法で、表はしたのである。だから祭りは植物の靈をあやかつてうつ人の芝居である。太古の昔には、御神馬などの飾りは直接に植物の花や枝を折つて裝つたものだつたでせう。今でも南洋の土人達はさうしてゐると言ふから。そして面白いことには、野蠻な土地の人ほど祭を澤山して騷いでゐる。などゝ。一個の說として興味ある話しであらう。

＊

お祭りが植物の繁榮と、平和をあやかる方法の芝居であらうと何であらうと、兎も角、人の祖先が純な心の眼に寫つた崇高な自然に對する信仰であることは疑ふべからざるものだと思ふ。春がくれて夏になり、秋になつて冬になる。太陽が輝き、星が光り、雨が降つて、雪が落つる。どうして之れ等自然に對して畏敬の念を起さずにゐられやう。人は自然の靈を尤も生氣に充ちた夏に於て祭つたのである。夏の祭りが始まると、子供も若衆も年寄も、みんなが醉つたやうに神輿に形どつた酒樽を荷いで街々をねり步いてゐる。愉快な、罪のない社會であり連中である。(民子)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

賃機織から百萬長者に

なられた栗原稲子刀自

□高工に一萬圓を寄附さる

僅かな賃機織から身を起して三十年の努力の今日は一大モスリン工場の場主となり、五百幾人の男女工を使用し、一ヶ年の賣上げ總高二百五十萬圓、資産百萬圓と稱されてゐる老婦人がある。今は工場も家財も愛嗣子にゆづつて自らは一人の樂隱居となつてゐられるけれど、三十年來の習慣は無爲に日を送ることを厭ひ、老いの身で六千五百坪に餘る工場内を朝に夕に見廻つて其處に使役されつゝある男女工を督勵されてゐる。そして工場内の人々からはお母樣のやうに慕はれてゐる。老婦人の名は栗原稲子　先頃藏前の東京高等工業學校に一萬圓を寄附した幸八氏の母堂である。本所柳島横川町の工場内に住んでゐられる。

□お嫁さんも一緒に

私が刀自をお訪ねしたのは梅雨晴れの空の珍らしく明るい日であつた。工場にゐられたらしい刀自は直ぐお會ひ下さる。菊の挿木の芽がブヨ〳〵と大空に向つて伸びてゐる庭を硝子戸越しに見る廣やかなお部屋で今日までの御苦心談をうかゞふ。今年六十六歳だと聞く刀自は十歳ぐらゐ若く見える。ネルの着物に羽織を重ねてゐられるその御姿は、百萬長者の御隱居と思はれない質素さであつた。

『隨分長い間のことだから何からお話しして宜いか。忘れてこともあるし…』

と、一寸考へるやうな風をなすつて、『まあ辻褄の合はないことを言ふかも知れないけれど、宜しく……』と溢れるやうな微笑を湛へて、愛相よく思ひ出を話されるのであつた。私は一つも聞き洩すまいと耳を傾ける。愛嗣子幸八氏の夫人も來られた。

栗原稲子刀自

半ば崩れた丸髷に紺足袋を召した、之れも地味な方である。

『ねえお母樣、そらあの、…

など〻刀自のお話しが單調になりさうな時話題を他に轉じられる容子などは、嫁と姑と言ふやうなそんな冷たい間柄とは見えない親しみが溢れてゐた。之れだから、此の發展も出來た、とも思はれる。お二人のお話しは斯うであつた。

□若くして夫君に生別す

刀自は栃木縣の安蘇郡に生れ幸八氏が三つになられた日に出京された。そして十年間は親子三人で樂しい家庭を過されてゐたが好事魔多しとか、夫君と分れねばならない運命に立ち至つたのである。その時刀自は一子幸八氏と五十坪と二十坪との機織場の外は、悉く夫君に讓つて一錢の貯へすらもなかつた。機を運轉させるのも金の世の中である。

『あの時の苦しさ、流石に何う

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しやうかと思ひました。百圓の資金も出來なかつたのでございますから。』と、刀自は沁々と追懐される。然しその時は人の裏書で三百圓を借りることが出來、それから凡そ三十年間、幼なかりし幸八氏を相手にして女の細腕一つで努力されたのであつた。

□精力主義で押し通す

刀自は話をつゞけて、

『百圓の資金が出來れば夫れを二百圓にして遣ひ、二百圓になれば三百圓にして、と言ふ樣に借金しながら資金を伸ばして事業を大きくする事につとめてゐました。元は裏長屋でしてゐましたので、今月五圓儲かればその五圓を家賃に廻して長屋を一軒借り、來月十圓儲かればまた二軒借りると言ふやうにして工場を擴げてゐました。そしてその頃は双子を織つてゐたので、双子は濕土によつて艶が出るから床をひくゝせねばならないけれど、床を作り直す暇が惜しくて疊をはがした儘で織つたほどでした。ですからよく皆樣があなたの家ぢや、床の上で機を織つてゐると言つて笑はれたのでございます。私は大抵夜は十二時を過ぎなければ眠らないし、朝は四時より遲く起きた事はございませんでした。で人樣がそれは僞だらう、そんな事をしちや體がつゞかない、と仰有るのですけれど、現に私がそんなにした當時の事を見てゐる人もあるし、又體もつゞいたから今日まで斯うして生きてゐますから、決して出來ぬ筈はないでせう、つて私は笑ひますが、私の今日までは唯精力だけで押し通して來たのでございます。』と、仰有る。

□事業そのものが興味

すると傍にゐられた幸八氏の夫人が、

『私が此家に嫁つたのはもう基礎の固まつた時でしたから、そんなに苦しい日の事は存じませんが、でもお母樣の精力には驚くほどでした。長屋を打ち通した以前の工場は、雨が降ると屋根と屋根とを續けた所などから雨がもります。で夜中にでも雨が降り出すと、さア、と言つて眞先きに騷ぎ出すのがお母樣でした。そして工場の内は眞暗ですから何處へ雨がもるのか分らなくててんてこ舞ひの大騷動が初まるのでございました。またその頃のこと、雨もりの下の機へ被布を被せやうと思つても、被布が求めてなくて騷いだものでございます。近頃その話しをして何うして調へて置かなかつたかしら、それほど困つてゐる時ぢやなかつたのに、と言ひますが、被布を買ふお金をも實は資金の方に遣つてゐたのでございました。今から思ふと事業を大きくする事のみを苦心してゐたやうでございます。』とおつけ加へなさるのであつた。三十年間の苦心は十や二十ではつきない。刀自は金を儲け、財産を積むことよりも唯事業そのものに興味をもち、事業の發展にのみ全精力を費やされてゐたらしい。

『練馬から大根賣りに來る女の商ひ振りが氣に入つたので、それを賣り手に使つたら大變に上手に賣りましたよ。』と其樣なことも仰有つた。會ふ人毎に、又起る事々に注意を向けられてゐたのも、此の事業を今日あらしめた所以であらう。機を見るに敏なる方である。刀自の上に幸あれ。(I子)

子供の智慧(一)

□馬車に乘つて樂天

徹さん(六歳)は、毎日遊ぶお友達のお祖父さんが亡くなりました。お葬式を道ばたで見て居りましたが、歸つて來ると「死んで、寐て、馬車に乘つて樂天だなあ」と大人つぽく申しました。

□貧弱なお布團

文子さん(四歳)は薄つぺらな座布團を持つて來て「このお布團は貧弱だこと」と何時の間に聞き覺えたのでせう。

九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女の先生の印象(三)

同一授業をした男女の先生

泰明小學校

今秋は小學女教員大會が催されると言ふことである。女教師が小供の教育に適不適と言ふ議論は別として、私は此處しばらく市内各區の小學校を廻つて、突き當りばつたりに女の先生の教授振りを拜見して、その印象記を書くことにした。

▲水曜日の朝、京橋の泰明小學校で六年生の讀み方の授業を見る、數寄屋橋際の三階の學校である。その學校の六年生は男子組と女子組と男女混合の組との三つに分れてゐた。男女混合の組は何んなものかと思つて擔任は男の先生であつたのだけれど、女の先生の授業を見てから覗かせて頂く。何れも讀み方で「出征兵士」と言ふ六節にわたる新體詩である。そしてその二組共に初めの三節は前日に終り殘りの三節をその日に新たに敎へられるのであつた。面白かつたから私は兩方の印象を書くことにする。

▲授業が初まると、「出征兵士」の文章が今迄習つた普通文と異つて韻文であつたことを尋ね、次ぎに一節づゝ暗誦させてその譯を話させ、そして新しく習つた文字を書かせたり、感想を言はせたりなさるのであつた。第一節は出征する兵士に餞する父の言葉、第二節は母の言葉、第三節は弟の言葉である。母の言葉の中に「彈丸に死すとも病ひに死すな。」と言ふ一句があつたら、女らしい情緒の溢れた言葉だと言つて、女生徒は感心してゐた。男生徒は男らしい文句を喜んでゐる。けれどその感想は嫌に大人びてゐるのが惜しかつた。もう少し小供らしい、獨創的なものであつたらなどゝ思ふ。

▲新らしく敎へられる節は初めが妹の言葉、次ぎが首途する兵士が家族への別れの言葉、最後の節はその光景を叙景したものであつた。女の先生はこの三節をまづ讀ませ、そして講義をさせ、その次ぎに感想を聞かれたが、男女混合の組を受持つてゐられる男の先生は一節づゝ讀ませて講義をさせ、そして感想を話させて、その一節づゝの印象を深く生徒の腦裡に刻みつけては先きへ進ませてゐられた之れも一種の氣持ちの宜い敎授振りである。概して女の先生の方は物の解釋が情的であるのに反し、男の先生の方は理智的に進んで行つてゐた。質問なども男の先生のなさり方は、さながら追ひかけるやうに見える。言はゞ、何故、どうして、それから、と言はれるやうである。女の先生の方はその階段を親切に半ば導いて、そしてお聞きなすつてゐるやうに思はれた。斯うして見てゐると、もう六年生にもなれば小さい大人として、大人の考へ方を口眞似だけでも覺えてゐなければならないのかも知れない、などゝも考へられるがまだ子供の部にゐる彼等は、子供らしい考へ方もして欲しいなどゝも思ふ、お二人の先生は共にお言葉の種類が豊富で、生徒が欠伸をする暇もなくて過ぎるのであつた。男女混合の組は男生徒と女生徒とが互に自分本位に質問に答へるので、その長所が判然と分つて面白かつた。宜い企だと思ふ。(K子)

子供の智慧(二)

□私のは五つ身?

松子さん(十歳)と雪子さん(九つ)の二人の前で、お母様が「雪子さんの着物は、もう四つ身では間に合はなくなつた」と云ひましたら、大きい方の松子さんが「私の着物は五つ身?」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

涙の安賣り

ヒステリーを誘ふ

薄田斬雲

□泣く女とヒステリー

女の生命は涙に在りとは、古來の不文律です。之が爲めに女は涙の安賣りを得意とする長い習慣を以て居ます。併し之が爲めに大變意志が弱くなり、ベソ子さんが續々として出ます。處が此の涙といふものは、之を武器として思ふ處をうまく成功し得る時は無難に納りますが、涙が成功しないとなると、茲に厄介なヒステリーといふのが來ます。理議明晰にして意志の强い女にはヒステリーが無い筈です。愚かにして、先見なく、內氣にして意志弱い處へ、難題が起り、唯だクヨ〱と考へ込み、泣いて〱涙漿が盡きた時、腦神經が異狀を呈して狂的發作を來し、ヒステリーといふものになる例が澤山ある樣です。

□滑稽な涙の安賣り

ヒステリーになつてはモウ一種の病症で、唯だ普通の心掛け位では快癒しないでせう。併し、涙の安賣り主義でどうにか一生を送つて行く婦人が澤山有るのです。そして斯程の婦人になると、涙を出す事が大變價値ある道德でもあるかの樣に考へて居るのです。習慣性となつて、大して哀しくもない事に、勘違ひの涙を流したり、無意味な貰ひ泣き涙の大安賣りをしたり、大分滑稽な事になります。先日或る學校で一人の先生が學校の教師を辭し去るといふので、其の女生徒達が皆んな泣いて居たのが、他のクラスの生徒の目からは、隨分變な現象に見えたといふ事です。本心を洗つて見ると、其の先生の辭職は是等生徒に取つて何程も哀しくはないのですが、誰れか一人率先して、先生の辭職する旨を吹聽し、吹聽の結末を付ける爲めに、安價な群衆心理作用から、「別れは哀しいもの」といふ原理を應用して、父母兄弟にでも別れる樣な幻像を起し、之の幻像催眠術により類性的の悲哀涙を流したのです。すると、本來雷同性に富む日本女性の常として、「あらまア」式に忽ち一同で、群衆心理式の安價な涙を流したので、涙も是程安賣りが出來ると半文の價値がない事になります。

□泣いても追付かぬ

二言目には金切聲を發して泣いて了うといふのが甚だ厄介な事で、女は後で自分の缺點を暴露された時、罪惡を問はれた時など、特に泣いて勝たうといふ卑屈な態度を取りたがるものです。小兒が泣いて勝つといふのと同じです、つまり成人した小兒は泣く事を生命とし、唯一の武器とするのです。處が、涙の成功は、深窓深閨には適して居ますが、今日の樣に婦人皆な街頭的生活に入つた以上、泣いても追付かぬ場合が日增しに多くなるのです。白日、園遊會場で仲間に苛められたとて泣き出したら見つともない事になり、人を訪問して冷遇されたと言つて泣いたり、電車の車掌と口論して忽ち泣いたりでは、當節では、涙は生命でも武器でもなくして恥搔きの源となるばかりです。涙を生命とし武器とするのは、屈從的奴隸の事で獨立心あり、智識ある婦人には涙は禁物です、今後は涙を人に見せぬ、圖々しい洒脫な婦人の時代です。

夏期講習會
ミシン刺繡科
ミシン裁縫科
自八月一日至八月二十一日使補用限機有
急至申込あれ（規則進呈）
東京有樂町一ノ五
シンガー裁縫院

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

胃腸によいマッサージ

女醫　藤井かう子

□薬を用ひずに

夏期は胃腸を傷め易い時です。便秘の場合も、下痢する時も、もしくは物當りの場合でも、薬で腸胃中のものを絞るのは、後とが澁るやうで氣持ちの惡いものです。それ故マッサージで腸胃の運動をつけて自然に消化を促す方が、體力を弱らせずに早く癒す方法であらうと思はれます。

□食物と入湯

マッサージと同時に、食物に注意する事は、勿論であります。下痢する場合には、他の食物は一切止めにして、葛湯—子供ならば薄くし、大人ならば粥のやうに濃くしたもの—を取り、食前に湯に入つて腹部を温め、場合によつては湯の中で腹部を揉みます。子供ならば、鹽湯で腰湯させる方がなほよいのです。マーサージは、次の方法で致します。

□五種の撫で方

先づ患者を横臥させ、足を曲めて腹部を緩めさせます。施術者は床の右に坐り、第一に鳩尾を掌で上から下に撫で下ろし、次に左の肋から鳩尾へかけて横に兩手で代る〳〵撫でます。第三に臍の周りを片掌で少し押しながら丸く撫で、第四に右の横腹は下から上に、左は上から下に同時に撫でます。第五臍から右により、斜に下(盲腸部)の處から、兩手を重ねて(片手を一方の甲に乘せ)重みをつけ、腹部を撫でながら一周して、左の同所(大腸部)に至るのです。以上の五種の撫で方は何れも數回宛繰り返して試るのです。

□三種の揉み方

次に揉み方に移るのですが、これには三種あつて、第一掌の手首によつた堅い所(母指丘小指丘といふ)を鳩尾に當て、指先は左の肋に置き、一つ所を押して揉みます。第二に腹の側面を兩掌にて押し、一側より他側に粉を捏るやうに揉み、第三には先の第五の場合の如く、兩掌を重ねて、盲腸部から始めて、指先に力を入れ、押しながら大腸部迄、腹部を揉みながら、一周します。

□腸胃を丈夫にする法

この方法はよく馴れゝば、別に面倒な事もありませんが、子供は腹部の面積も狹く、長く續けては飽きますから、臨機應變に右から左にの。字を書くやうに、掌を押し付けながら撫でゝやる丈けでもよろしうございます。なほ前に述べたマッサージの方法は、腸胃の惡くない人で

十二

化粧問答

問　私は非常な汗かきで、是れから先き汗疹や腋臭で大層難儀を致しますが、何か豫防法は御座いませんでせうか　（長崎　若綠）

答　汗抑へとしてもタヾレ止めとしても、一番よくきくのはクラブ天瓜粉で、此の天瓜粉は汗や脂を吸收して水分の蒸發を促し、肌溫を冷し、充血を退ける作用を具へ、皮膚に清涼の快感を與へますから首筋、腋の下、腰の邊、股、其のほか汗の多い部分へ之を打つて置きますと、汗疹やタヾレを防ぐことが出來るばかりでなく、盛夏の候でも一味の淸風衣襟の間に生ずるを覺え非常に爽快な感じを與へます。尚ほ足袋の中や靴の底へ振つて置きますと、足のほてりや脂の出るのを止めることが出來るので、近來老若男女を問はず盛んに賞用されるや

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も、朝晩床の中で獨りで施れば、胃腸が丈夫になります。

藤井女醫は七月十五日より、牛込區市ヶ谷田町二ノ廿一松宮方(本社附近)に出張、午前凡そ二時間宛十二三回に亘り、衛生マッサージ慰安マッサージの講習を開かれます。講習料は金拾圓前納の事。希望者は本社迄御申し込み下さい。

夏の女の装ひ

東京だより(十一)

▲五月雨が晴れると直ぐ單衣では熱苦しくて浴衣にぬぎかへるやうになりませう。去年はまだ淺黄模様の形が喜ばれて居りましたが、今年はすっかり紺の絞り模様にかはりました。久松絞りに絞って紺の間へ藍を飛ばしたものもあれば、意氣に絞り模様で格子縞を現はしたものもあります。以前のやうに幅一杯に芭蕉の葉を染め出した華麗な、けば〲しいものは見當りませんが、何處までが一模様だか分らないやうな、ぼんやりして、それで着ては引き立つ落ちついたものが迎へられるやうでございます。そして地質は縮みが多いやうに思はれました。またモスリン地の浴衣も大分見ますが、之れも黒っぽい絣に變つて居ます。何れも去年に比して三割方騰つたやうです。

▲それから夏の長襦袢になりさうな友禪の模様ものは、絽もメリンスも、その模様の色彩が何だか十二三年くらゐ昔にもどつたやうな鄙びた感じのするものが多くなつたのに氣がつきます。半衿は薄色無地の立縦縮緬に刺繍で模様を現はしたもの、帯は黒繻子にあつさりと刺繍したものが喜ばれてゐます。

梅漬け三種

櫻井ちか子

五月雨降る中を縫ふて梅賣りの聲が聞える期節となりました。梅は今が一番漬け頃です。近頃のやうに梅干の高い時には是非お宅で漬けて置く事をおすゝめ致し度いと存じます。

□**梅干** 梅は一寸色が付きかけた位ゐのもので、成る丈け種子の小さいのを擇びます。一度水洗ひして水氣をきりましたらば、梅一升に就き鹽三合の割にして漬け込み、三四日の間—水の上る迄重い壓石を置きます。そして梅酢から上げて極く天氣のいゝ日に三日三晩日光に乾します。雨が降りさうな時は夜干しは致しません。干す時には米俵の開いたのか、ばらむしろのやうな物の上に並べて乾すのが最も宜しいやうです。干し上げましたらば梅酢の中に漬け込みます。紫蘇は枝のまゝの方が洗ふのに便利ですから其のまゝ洗つて、水氣を除り、葉だけを取つて梅酢の中で揉みながら充分色を出します。この酢の中に前の梅を入れ、揉んだ紫蘇は其の上に載せて置きます。そして天氣のいゝ日を見計らつて蓮の目のつんだものゝ上に載せ、梅に皺の寄る迄、三四日太陽に乾します。この時には夜は毎晩梅酢に浸けて置くのです。此の間に梅は可成り色が付きますから、梅酢はひたひたになる位ゐに入れて、餘りは外の物に入れて保存して置きます。こうして置けば必要のある時に一々梅の中のを取らなくても濟みます。

□**酒精漬け** これは若梅を一寸洗つて、酒精の中に漬け込みます。二十日ばかりすれば喰べられるやうになります。小枝などの付いたまゝ漬けるのも面白うございます。

□**砂糖漬け** 矢張り若梅が宜しい。砂糖一斤に就て梅十個乃至十數個の割ですが、梅が隱れる位ゐを最少程度として、砂糖が多い丈け結構です。梅を洗つて水をきり、前の砂糖の内に漬けますと、梅から水が出ますから、自然に砂糖が解けて酢味を持つて參ります。この汁はお腹を痛めた折にお湯にさして飲むと非常によく痛みを止めます。

うになりました。

問 水の荒い故か、顔や手先がザラ〱して困ります。簡單に水を軟げる方法がありましたら、御教示を。(仙臺 鄕璃)

答 硬水(例へば井水の如き)は概して皮膚を荒す傾きがありますから、成るべく軟水(例ば水道の水の如き)をお使ひになる方が宜しうございますが、併し事情の許さぬ所では、井水でも構ひませんから、顔や手先をお洗ひになる際、クラブ洗面香水を五六滴垂してお使ひになれば宜しうございます。そうしますと、水も軟らぎ、洗つた後の皮膚も柔滑して、其の上に何とも言へぬ床しい香りが身の邊に漂ひます。尚ほ荒れ方の甚だしい場合には、一番よくきくアレ止め美身劑のクラブ美身クリームを平生お用ひになれば、冬でも夏でも荒れ知らずで御座います。(廣告)

十三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然兒 (五)

デビッドの旅(下)

琴子

ビリ、ビリッと父さんが、手帳を破ぶる音に氣がつくと、又デビッドには、父さんの事が、心配になるのでした。

デビッドは、急に思ひついたやうに、側の家へ飛んで行きました。戸をたゝくと、内から、愛嬌のない顔の御婆さんが出て來ました。「何んだい？」

「をばさん！今晩は！僕、デビッドなの。父さんがくたびれたの、そして、倒れたの、だから、をばさんの家へ宿めてほしいの。」

デビッドは、いつか、父さんに敎へられたやうに、ちやんと帽子を取つて、丁寧に言ひました。

お婆さんは、呆れて、デビッドを見て居ましたが「何んだい！馬鹿な！誰が、宿無しなんか泊めてたまるもんか」、と言つて、バタンと戸をしめました。

此度は、デビッドの方が呆れました。宿無しつて何の事だか解りませんが、それを聽くと、急に、顔から、首から、まつ赤になつて、胸がドキ、ドキして來ました。

默つて、戸口の前に立つて、居ますと、お婆さんが又、戸を明けました。前より、いくらか、やさしく見えました。「おい！お腹が空いてるなら．裏へおまはり。牛乳とパンをやるよ」。と言ひました。「こんな御婆さんから貰ふもんか。」と言ふ氣が起りましたが、フト、父さんの事を思ひました。又自分のお腹も、グウ、グウなつて居ます。デビッドには斷れません。ソッ卜、裏の方へまわりました。

お婆さんは、パンと乳をくれました。デビッドは、山に居た時、父さんが、食物を貰つて、お金を拂つた事を思ひ出しました。で急いで、金貨を一枚取り出しました。

「をばさん、取つて下さい。僕拂ふから。」

お婆さんは、一寸とお金に氣が付いて、よく見て居ましたが、其内「金ぢやないか！金ぢやないか！二十圓金貨ぢやないか！お前、盜賊だね、宿なしだと思つたら。お前なんかにやるもんか」。お婆さんは、牛乳もパンも、引つたくつて終ひました。

盜賊と言れて、デビッドは身傈ひしました。父さんの處へ飛んで行つて、「父さん、行かう！早く！早く！」無理に、父さんをせきたてました。早くお婆さんの處から離れたいと思つたのでした。少し、歩るくと、後から、荷馬車の音がしました。「オーイ！村へ行んか？」「さうだよ！をぢさん！」。「ぢや、乘んなさい！」「有難う。をぢさん。」二人は、廣い、荷馬車の中へ這入つて、ゆつたり横になりました。

その男は、だまつて、引いて、行つてくれました。そして、丁度、分れ道の處へ來て

「氣の毒だが、己れは右の方へ行くんだ。お前達はもうすぐ村へ着くだよ」。

と言つてデビッド達を下しました。デビッドはこの男の親切を實にうれしいと思ひました。が、二人はまた困りました。行く處も寢る處もありません。デビッドはもう、知らない家へ行く事にこりました。どうしようかと、考へて居ますと、月の光に、小さい小屋が見えました。「父さんあすこへ行かう。あすこで寢やう！」

と言つて二人は小屋へは入りました。

* * * * *

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

雜草（六）

茅野雅子

さうしてゐる中に年が暮れ年があけた。これ迄は成る可く簡略にして居た儀式めいたこと等も、今年は老人の爲めにといふので、面倒を厭はずやることにした。併しそれも山國から來た二人には充分の滿足を買ふことはできなかつた。鏡餅の飾方一つ違ふのにも、何だか深見家の長い習慣が無視せられてゐるのを慊りなく思はずには居られなかつた。お久もその事は始めから氣付かないではなかつたので

「お母樣、お雜煮は何うしませう。今年は皆なお國風にやり度いと思ふのですが。」などゝ成る丈け姑に訊ねるやうにした。併し改まつて左樣いはれると、

『なあに何うでもいゝわね。處變れば品變るだからね。』

お民は幾時もかう答へるのが常であつた。材料一つ買ふにしても田舍の方とは勝手が全然で違つてゐる。田舍で得易いものが京都では却つて手に入れ難いことも知つて居た。それに缺くことのならぬ必要なものでも無い。さう思つてお久のする儘に任せて何にも指圖がましいことは云ふまいと考へたものゝ、扨て愈々其場合になつて見ると、さすがに寂しい心持を禁ずることが出來なかつた。何だかお久の世界丈けが家の中へ廣がつて行くのに、自分たちの境界は一日一日と狹くなるやうに感ぜられる。それでお久が健次に聞いて、國風の食物などを拵へて呉れても、多かる可きものが少なかつたり、無くてもよい物があつたりして却つてお久が役に立たないかのやうに思へた。

『今日は國風の御馳走だね。』

健次がそんな風に云ふのもお民にはいゝ心持がしなかつた。

『國だつたらこんな時にはお魚も鹽物でするのだがね。』

『それはお祖母さん生物は河魚きり無いからでせう。』勝江がさすが取なし顏にいふのを、お民は打消して云つた。『なあにお前、お餅の口には鹽物の方がさつぱりしていゝのだよ。』

母の氣質を知つて居る健次はたゞ默つて笑つてゐたが、お久は屢々斯ういふ破目に陷るのを悲しいと思つた。自分が好意から爲て居ることが何うして素直に受入れては貰へないのだらう何故もう少し赦す心持になつては呉れないのだらう。左樣考へるにつけてもお久は自分達の生活と、姑のそれとを顧みずには居られなかつた。正月になつてから、客は隨分多かつた。それは健次の所へ來る人ばかりではなかつた。遠慮といふことを知らない若い畫家たちが夜遲くまで遊んでゐることも稀ではなかつた。話相手一人訪ねて來ないお民には、それも氣に入る筈がなかつた。

陰性に曇つた寒い日が續く頃のことで、細い雨がわびしく硝子窓に降注ぐ薄暗い午後など、お民はよく炬燵にあたり乍ら何を見るともなく外を眺めてゐた葉の落盡した柿の木の側に黃色い柚子の實が五つ六つ雨に濡れて戰慄てゐるのも、異鄕に居るといふ寂寥をそゝつてくる。三人まで産むだ女の子は皆な不幸に早生して了つて、今は子と云つては健次一人になつて了つたその親一人子一人の自分達が、永らく一所に住まなかつた故でもあらうが、漸々遠くなつてゆくやうに思へてならない。第一自分達夫婦が地道に苦勞して僅かながら築上げた財産も、之れから先き何んな風になつてゆくかわからない。健次の收入が何

十五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れ丈けあるかといふことも確かには聞かない乍ら、自分達の若い時に較べては金使ひが荒すぎる。やれ雁次郎が出る、梅幸が來たと云つて大阪あたり迄芝居見物に行つたりするのは贅澤に過ぎてゐる。お民は終この間連れて行つて貰つた浪花座の有樣や、濠ばたに沿つた芝居茶屋の座敷のこと等を思出した。『每度おほきに、今日は奥はんは。』等と云つた其處の女中の言葉も忘れはしなかつた。さうやつて取止めもなく種々のことを考續けてゐると眼の中が漸々重くなつて來た。よく見ると柚子の葉の横から見えて居た灰色の空が幾時とは無しに大きくなつて、今迄見えて居た隣の屋根の一角も電線も皆な消えて了つて、大きな池になつて居る。見れば自分は一人で其池の水を一生懸命で汲出してゐる。三人の娘も知らない間に側へ來て一所になつて水を汲むでゐるらしい。それを健次は向ふ岸に立つて笑つて見て居るのである。何だつてあの子は何もしないで立つてゐるのだらう。私達のしてゐることが解りさうなものじやあ無いか。さう思つて尚よく見ると橫手の方の柚子の樹の後ろの方にお久が居て、大きな水門の戸をあけてゐる。其處から眞珠いろの水がどんどん流れて來る。池は見てゐる間に大きくなつて、際限もない海になつてゆく。健次やお久の姿も最う見えなくなつた。今迄ゐた娘たちも居ない。自分一人海岸の砂の上に立つてゐるのである。海には浪の音もしない。唯々漫々と涙のいろに湛えられてゐる。耳を澄ますと遠くの方に幸福さうな子供の笑聲が聞えて來る。何だか孫の奎子と八重子であるらしい。

お久がお茶を入れて姑の部屋へ行つた時、炬燵に當つたまゝ背後の壁に凭れてうとうとまどろむで居るお民の頰には涙が傳つてゐた。お久は眼聡くそれを見つけた。

新刊紹介

口養生の話（侍醫、醫學博士高橋信氏著）醫者は病氣に罹つたら見て貰ふもの、病氣は藥で治すものといふ世人の迷蒙を啓らいて、醫師は健康の顧問であり、藥は人體の自然の作用を補佐して、其の機能を盛んならしむるに必要である事を、親切に面白く說かれてあります。そして個々の疾病でなく、普通の健康體並に一般疾病に罹つた時の養生法を說かれてありますから、苟も家を政め、世を治むる前に、先づ我が身を治めんとする人には、一讀をお勸めいたします（定價四十五錢麴町區飯町二ノ九洛陽堂）

口家事經濟號（主婦之友七月號）成功した貯金の實驗、改良した中流の家計上品で收入多き内職等の實益記事の外カチューシャの繪物語等平易に面白い讀物に富んで居るのは、本誌の特色あります（本號特價廿七錢 東京巣鴨町東京家政研究會）

口少女友愛號（新少女七月號）羽仁主筆の質問に答へたものは、さかく偏りで小さい胸を痛め勝ちの我が國の少女には殊によい導き手さなりませう。其の他頭腦を通した記事に富んで居り、五來素川氏の長篇小說離蕪はいよいよ佳境に入つて居ります。（一部十二錢東京雜司ヶ谷上り屋敷婦人之友社發行）

口子供丈夫號（子供之友七月號）丈夫になつた花子さん、夏子さんの誕生祝ひ等美しい見開き繪や、ゆだん大敵の話、寶の谷等の面白い讀み物の外婦人之友社の大運動會の樣子が揭げられて、誌上が賑つて居ります（一部十錢前同發行）

新舊衝突物語（十八）
聲の衝突

近藤浩一路

若い人は學校などの喧騷場裡を往來してゐるから、自然聲が大きくなつて、家庭へ戻つてもなかなか以て地聲が高いので、年寄はどうも今頃の若いものは聲が大きくて騷々しくて仕方がないさ叱言が出るさ、却つて若い人の方はどうも年寄の聲は低くてきゝされぬさこぼし、此處に聲の衝突が始まる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□地久節　來廿五日は皇后陛下第卅三回の御誕辰に相當致しますので、宮中に於かせられて御盛儀が行はるゝ筈であります。猶當日は第二皇子淳宮雍仁親王殿下第十六回の御誕辰の事とて、例年の御祝事がある由承ります。

□東宮出雲大社御參拜　東宮殿下には七月中旬を以って山陰道に行啓あらせられ、敦賀より軍艦に御搭乘、伯耆境港に御上陸、夫れより出雲大社に御參拜、山陰地方を御見學遊ばさるゝ由承ります。

□博恭王妃御忌服　伏見若宮博恭王妃經子殿下には子爵松平忠和氏薨去の爲め御伯父の御續きを以て定式の喪に服せらるべき旨仰出されました。

□李王殿下の御動靜　十三日震ヶ關離宮に御休養あらせられたる李王殿下には十四日午前參內賢所參拜、下つて午後東宮御所に御參入、十五日は午前各皇族御訪問午後御陪食後、舞樂の御陪觀を仰せ付けられ、十六日には近衞步兵第二聯隊に臨ませられ、王世子の御指揮遊ばされたる小隊敎練を御覽あり、十七日は御休養、十八日は霞ヶ關離宮に御自身主催にて午餐及び晚餐會を催させられ、十九日御暇乞の參內あり、廿日は豫定の通り御退京遊ばされました。

尙ほ同行せる女官及び貴婦人は寺內首相夫人兒玉伯夫人等の人發起によつて、十四日永田町なる首相官邸に招待せられ晚餐の饗應を受けられました。

◉希臘國王讓位　希臘國王コンスタンチン陛下は、協商國側の意見を代表して渡來した佛國下院議員デヨナール氏に依つて、十一日陛下の要求を提出せられました。爲に希臘政府は內閣會議を開きたる結果其の要求を餘儀なく承認し、王は國家の利益を念として、皇太子と共に國外に退去する事に決し、位を第二王子アレキサンダー親王に讓りました。一時は示威運動も起らんとする不穩の形勢もありましたが、幸にして無事なるを得、アゼンス市內は頗る平穩であると申します。

◉國會解散と支那の近況　黎總統は督軍團の要求に依り、十三日拂曉、參議院及び衆議院を解散し、天津派の勢力こゝに他派を凌ぐに至りましたが、天津も亦統一を缺き、復辟派、徐世昌を總統に擧げ、段祺瑞內閣を組織せんとする派、張勳の後援に依つて李經義內閣を起さんとするもの、自己の地位を維持すれば足るもの、梁啓超、湯化龍の一派と五派に分れて暗鬪を續けて居りますから、支那の形勢は詳かに記す事は出來ませんが、米國政府の支那に於ける活動は目覺しきものがあると申ます。

◉倫敦の慘劇　十三日朝獨逸飛行機は倫敦を襲擊し、小學校に爆彈の命中する等慘事を極め、日本商社も多少の損害を被りましたが、邦人中には死傷者はありませんでした。英人の死亡は九十七名負傷者は四百三十九名で中六十名は兒童である由です。倫敦市民の狼狽はさる事ながら、餘りの暴行に復讐的憤怒を燃して居るとは誠に尤の事と存じます。

◉特命全權大公使臨時設置　十二日勅令に依つて特命全權大公使の臨時設置の件は裁可され、直に米國へ特使派遣さるゝに至りました。それは米國が協商國に參加し、對獨宣戰を敢てした結果、帝國政府は今後執るべき協同動作に關し、軍事上、經濟上米國と隔意なき協議を凝らすの必要上前外相子爵石井菊次郎氏を全權大使として派遣せらるゝ事に決し、十三日親任式を擧げられました。尙ほ陸軍よりは菅野少將、海軍よりは竹下中將隨行の事に決定致しました。一行は七月早々横濱より出發約三ケ月にて歸朝の豫定。

◉初ての外交調查會　新任後第一回の外交調查會は十八日午前九時半から宮中東三の間に於て開始せられ、約一時間半に亘る重要討議を了へて、解散致しました。

◉我驅逐隊攻擊さる　佐藤司令官麾下の驅逐隊は、護送任務の歸途、去る十一日午後地中海に於て敵潛水艇の爲めに攻擊せられ、其の中「榊」は魚雷の襲擊を受け艦長少佐上原太一氏以下六十名の戰死者を出しました。戰死せる上原、竹垣の兩少佐は各中佐に任ぜられ以下それ〴〵恩賞に預りました。

◉唐山丸擊沈さる　東京市京橋區なる松昌洋行所有船唐山丸（三、六〇〇噸）は米國ボストンより英國マンチエスターに向け航行中敵潛航艇のために擊沈せられました。　乘組員の生死等一切不明ですが、船長西川伍助氏以下三十四名の乘組員で、百萬圓の戰時保險に附してあります。

◉學界の光榮者　大正六年度帝國學士院恩賜賞は文學博士佐々木信綱氏（日本歌學史、及び和歌史の研究に對し）理學博士寺田寅彥氏（ラウエ映畫の實驗方法及び其說明に關する研究に對し）の兩氏に、學士院賞は理學博士眞島利行氏（漆の主成分の研究）同西川正治氏（物體のレントシエン線檢査に關する研究）が其の光榮を擔ひました。　右授與式は七月一日美術學校講堂に於て擧行する筈です。

◉發疹チフスの病原發見　大正三年以來發疹チブスの研究に從つて居られた醫學博士二木謙三氏は、去る十六日其の病原に就て公表されました。即ち同チブスの病原はワイルス病原に似たものであつて、患者の身體についた虱から傳染すると云ふ。下層民に此の病人が多いのもこれが爲めで、痲疹の如き空氣傳染ではありませんから、矢鱈に傳染する譯はなく、患者の家に出入したものゝみに限つて傳染するものであります。

◉頓死せる世界的大學者　上野精養軒に滯在中の瑞威の學者ベルケランド氏は、誤つて催眠劑を多量に服用し、十五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日頃死致しました。氏はクリスチャニヤ大學の物理學の教授で、學界に多くの業績を擧げて居りますが、中でも最も世界的に知られて居るのは、空中窒素固定の大發明であります。即空氣中にある窒素を強烈なる電氣の力によりて硝酸の形にし、智利硝石の代用品として肥料や、火藥の原料とし、無限に供給することが出來る機にしたベルケランド、アイデ式の空中窒素固定法の發明者で、世界の電氣界、工業界に貢献した事は莫大であります。死體は醫科大學の解剖學敎室で預つて居ります。敎授は數へ年の五十であると申します。

◎藤岡好古翁逝く 神宮奉齋會長従五位藤岡好古翁は、十七日日本大學宗教科開講式に於て、『神靈に就て』と題し講演中、突然腦溢血を起して卒倒し、遂に再び立つ能はざる不歸の客となられました。享年七十二。氏は恬淡で名利に淡く、眞に斯道の老大家として人心を集め得た人であります。

◎理想的の活動寫眞興行 近來問題となつて居る活動寫眞の改良に關し、伯爵陸奥廣吉氏は理想的の活動寫眞興行に物質的の補助を與へる事となり、五十萬圓の基本金の利子の一部を割いて之に當てられました。これは天活會社の手に依つて、其の第一回興行は廿日過ぎに神田錦館で催される筈です。フキルムは大小人の區別をつけませんが出來る丈けの選擇を行ひ、興行時間は三時間以内を程度とし、休憩時には奏樂を行ひ、換氣採光法を充分にし、且つ辯士は出來る丈け用ひない方法であると申します。時には活動寫眞に關する知名の士の講演を休憩中に試み度いとの希望もあります。

◎水泳許可場所 十八日警視廳の許可になりました水泳場は月島の海に面する沿岸と、千住中組河岸の二箇所で、從來許可されて居た綾瀨川の下流より、隅田川全部芝浦等は禁止されました。隅田川河水中には一瓦の水中に四萬二千二百乃至四十八萬八千八百と云ふ多數の黴菌が居り、特に本年は腸窒扶斯流行の兆がありますので、かく斷然たる禁止を行つたのであると申します。

◎蠅と蚤を捕れ 警視廳では夏季衞生に關し、惡疫傳染の媒介たる蠅及蚤を左の方法に依りて驅除するやう一般に告諭しました。

▲蠅の驅除法 (一)飮食物調理所、店舖等にて蠅の群集し又は産卵する場所は努めて防ぎ清潔にすること (二)流し場又は下水溝の排水を能くし汚水を停滯せしめざること (三)飮食物を貯藏する場所は開放せざる様注意し且飮食物には適當の覆を施すと。▲蚤の驅除法 (一)室內洒掃の際に特に疊の數合せ又は閾際、其他光線の射入せざる場所を清潔にすること (二)清潔方法施行其他の場合に疊を上げたるときは床板を清潔にしたる上新聞紙類を敷き詰めナフタリン粉末等を適當に撒布すると (三)寢具は努めて日光に乾すこと。▲殺蚤劑 石鹼末四匁五分、溫湯四匁五分(約一勺)を適當の大きさの鉢又は桶の類に入れ能く攪拌乳狀の液となりたる後溫湯九合八勺を攪拌しつゝ徐々に加ふること。

◎市子の控訴判決 神近市子の控訴公判言渡は十八日朝控訴院で行はれました。而して原判決懲役四年を取消し、懲役二年に處し、刑の執行猶豫はない事になりました。

◎婦人問題研究會 廿三日午後五時より例會を麹町區八重洲町中央亭に開き、食後文學博士佐々政一氏の「物語に現はれたる女」につき講演ある筈。

◎慈愛館捧堂式 府下大久保百人町の慈愛館は、かねて改築中の第二番館落成につき廿日午後捧堂式を擧げました。

女學校だより

△京都府立第一高女 同校々長河原一郎氏は本年既に六十九歳の高齡に達せられましたので、此の頃文部省の認許を得て辭職する事になりました。後任は臺灣總督府視學官大石和太郎氏が既に去る一日から就任されて居ります。尙ほ文部省にては河原氏が明治二十三年以來今日まで廿八年間勤續されたのを表彰され、高等官四等正六位に陞敍されのみならず恩賜の銀盃一組を下賜せられました。同校の校友會なる鴨沂會にては同氏に謝恩の目的と、新校長の歡迎とを兼ねて十七日午前九時から盛んな謝恩會を催しました。

論説室より

▲警視廳の禁制の札を立てた外濠の土手は、踏まるゝ恐れもなげに若草の茂みも深くなりました。▲靜かに降る雨の中を倦み、疲れ切つた筆を捨てゝ、此處等邊りの青い薫りを身にしめながら散歩するのも心地よい、限りです。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依頼者が至當と思はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午時四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內(電話番町四五六六番)

人事相談所

婦人週報
(每週金曜發行)

定價表

△壹部金五錢(但し郵送料五厘を含む)
△一ヶ月(四部又は五部)金二十錢
△三ヶ月(十三部)金六拾錢
△半年(廿六部)金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等(表紙の二、四)金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙前付)金廿五圓
△貳等(色紙の表側)金廿貳圓
△參等(色紙の內側)金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割増の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人 東京市京橋區銀座四丁目一番地 小橋三四子
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 福音印刷株式會社
發行所 婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

侍醫・醫學博士高橋信先生新著

四六判美本一冊
價四拾五錢稅四錢

養生の話

先生は内科の少壯大家にして、加ふるに生物學生理學の造詣深き人、本書載する所宇宙萬象に通有する原理より說き起して、今日の醫學が藥石萬能の醫學に非ずして、自然に隨ひたる最も合理的のものなる事を指示し、如何にせば最も自然的に健康を保持し、疾病を未然に防ぎ、患者醫師共に相助けて疾病を治療し得可きかを平易の裡に教示せるものにして自然が示す種々なる暗示の如何に吾人が養生上必要なるかを說く所、實に一語千金に値す

本書の内容

▲美妙なるかな自然の理法▲人體内に於ける自然の防禦裝置▲人爲避病法▲精神と肉體との關係▲食事は人によりて差ある可し▲運動は必要なれども人によりては害有り▲自然に適つた食事法▲如何にして感冒を避く可きか▲如何にして傳染病を避く可きか▲如何にして胃腸の病に對するか▲如何にして腎臟病及糖尿病に對するか▲如何に神經衰弱を豫防し又之に對するか▲如何にして心臟病に對するか▲如何にして呼吸器病に對するか。

醫學博士唐澤光德先生序・醫學士河合二三郎先生著

四六判布製參百五十頁
定價壹圓廿錢送料八錢

不用意が招く愛兒の死

再版

母の脊に負はれて澁谷へ行つたばかりに死んだ清子あれば、癇おさへの灸に惱まさる芳坊あり。百日咳にて死せし坊チャンの述懷あれば、疫痢にて死せし源チャンの一代記あり。廿有餘の實例を小說體に面白く讀過せしめつゝ、育兒上の總ての方面に論及す。夏期に尤も大切なる兒童と食物其他育兒上必要なる事項を最も親切に說述せり

高島平三郎先生著
敎育に應用したる兒童研究（四版）
價貳圓八拾錢 稅拾二錢

ドクトル・竹中繁次郎先生著
轉地療法 山と海
價七拾錢 稅八錢

嘉悅孝子先生著
怒るな働け（八版）
價八拾錢 稅八錢

島高平三郎先生著
婦人の生涯（再版）
價壹圓四拾錢 稅拾貳錢

福鎌恒子女史著
奥樣とお女中（再版）
價六拾錢 稅六錢

トルストイ 加藤一夫譯
我等何を爲すべき乎
價壹圓六拾錢 稅拾貳錢

後藤靜香先生著
女敎員の眞相及其本領（新刊）
價壹圓廿錢 稅八錢

岡村準一先生著
兒童保護の新研究
價貳圓廿錢 稅拾六錢

發行所 東京市麴町區平河町五丁目 振替口座東京二〇九一四番 洛陽堂 （電話番町 四二五八）

東洋内科醫院

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附內）
電話番町　六二番

院長　醫學博士　高田畊安

南湖院

電話ちがさき二番
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

大栄　天印

赤　白

宮崎葡萄液

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニモ下戸ニモ又御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱
商品切手調進仕候

宮內省御用達
東京市日本橋區通旅籠町
發賣元　甲斐產商店
電話浪花八七〇、八七一

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にしても英語初歩より學ばんとする者にも懇切に教授す　（ピアノ個人教授の需めに應ず）

英語專門私立　櫻井女塾

本鄉區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

耳鼻咽喉科專門

耳鼻咽喉科　大野醫院

（入院隨時）
院長　大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎產婦人科◎小兒科

宅診午前　往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ

院長　女醫　吉岡彌生

東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町　二三五七

東京至誠病院

新發見

クリーニング水

シミヌキ液

定價一瓶金廿五錢

當商會特製發賣の特印クリーニング水は從來のふきは全く其質を異にし當商會の技師長が多年歐米に於て實地研究せられたる苦心の結果發明したる無二の特効液にして其効力の偉大なること實に驚くべきものなり現に各國大公使館帝國ホテル等に於て愛用せられつゝあるのみならず内外朝野の貴顯紳士貴婦人間として上中流社會の各家庭を通して一日も缺くべからざる常用品たるに依て見るも如何に理想的にして且つ實際的クリーニン液たるかを證し得て餘りありといふべし

使用法　ブラシに着けて和洋服類地等の汚みの局部を輕く摩擦すれば如何なる汚れも立所ろに拭消す如く無くなるべし、又絹其他の薄地のものには裏面より白き布片を當てゝ其上より摩擦すれば地質を損せず變色伸縮等の憂ひなし

注意　此液は火氣のある處にて取扱ふことは勿論平生も火氣ある處に決して置かぬ　御注意あり度し

東京麹町區有樂町一ノ四
製造發賣元　椿クリーニング商會
（電話新橋一九三四）

若し此液を用ても效果はしからぬ場合は御一報次第早速店員參上可仕又此場に貼用の口紙御持參の方には一割引にてクリーニングの御注文に應じます

產科、婦人科、小兒科

女醫　井出茂代

東京府內藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院

○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電　京　二二三一番）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

子供丈夫號

丈夫になつた花子さん（可愛い折本の附錄）

夏子さんの誕生祝ひ（六枚續き見開き繪）

子供之友 七月號

▲ゆだん大敵の話
▲續きもの寶の谷
▲涼しい濱邊へ
▲七夕さんく
▲けふは村まつり

少女友愛號

新少女 七月號

本社大運動會記事寫眞滿載

大評判の長編小說「雛燕」（五來素川）

▲友愛の歌（醉茗）
▲問に答ふ（とも子）
▲バラソン物語雨雀
▲立志小說青い海
▲少女小說眞の學校

定價 各一冊 十二錢 郵稅一錢 半年稅共 七十二錢

東京雜司ケ谷
婦人之友社
振替東京一一六〇〇

弊店の特色
御召 織式 縞染
△古手物モ新規同樣ニ相成候
△出來期日ハ最モ正確且ッ迅速ヲ旨ト致シ候
△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命ニ應ズベク候

中澁谷六百十八番地（玉川電車通西郷邸前）
百足屋染物店
平田孫太郎

皮膚科
內科
小科

女醫 **松木勝**
芝區三田豊岡町五十三番地

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正六年六月二十二日發行（毎週土曜日發行）　婦人週報 第三巻 第二十五號　（大正四年十一月四日 第三種郵便物認可）

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA